

平成25年第4回定例会報告

第4回定例会には、平成25年度補正予算関係3件、条例関係5件、その他案件1件、平成24年度決算関係12件の合計21件が市長から上程され、議員提出議案1件、請願1件を提案しました。予算関係、条例関係、その他の案件、請願の22件は、各常任委員会に付託され、9月9日～13日に審査し、本会議において、請願については不採択、その他は、原案のとおり可決しました。本会議での採決状況及び結果につきましては、下表のとおりです。

議 案 名	採決結果	議案の主な内容
平成 25 年度土岐市一般会計補正予算（第2号）	全会一致 可 決	補正額 34,212 千円
平成 25 年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 可 決	補正額 52,988 千円
平成 25 年度土岐市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 可 決	補正額 3,726 千円
土岐市税条例の一部を改正する条例について	全会一致 可 決	地方税法等の一部改正に伴う改正
土岐市子ども・子育て会議条例について	賛成 16 人 反対 1 人	土岐市子ども・子育て会議を設置するための条例制定
土岐市小口融資条例の一部を改正する条例について	全会一致 可 決	中小企業信用保険法の一部改正に伴う改正
土岐都市計画下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 可 決	下水道事業受益者負担金及び分担金に係る延滞金の割合等の見直しに伴う改正
土岐市火災予防条例の一部を改正する条例について	全会一致 可 決	消防法施行令の一部改正に伴う改正
土岐市公共下水道土岐市浄化センターの建設工事委託に関する協定の締結について	全会一致 可 決	委託先：地方共同法人 日本下水道事業団
平成 24 年度土岐市一般会計決算の認定について	賛成 15 人 反対 2 人	歳入 19,454,763,490 円 歳出 18,847,637,899 円
平成 24 年度土岐市下水道事業特別会計決算の認定について	全会一致 可 決	歳入 2,077,380,230 円 歳出 2,074,380,230 円
平成 24 年度土岐市交通災害共済特別会計決算の認定について	全会一致 可 決	歳入 7,657,264 円 歳出 7,657,264 円
平成 24 年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について	賛成 16 人 反対 1 人	歳入 6,662,567,919 円 歳出 6,389,307,000 円
平成 24 年度土岐市自動車駐車場事業特別会計決算の認定について	全会一致 可 決	歳入 64,009,918 円 歳出 56,938,661 円
平成 24 年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について	全会一致 可 決	歳入 4,623,171,686 円 歳出 4,621,446,514 円

議案名	採決結果	議案の主な内容
平成24年度土岐市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 29,234,387 円 歳出 29,234,387 円
平成24年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 41,760,863 円 歳出 41,760,863 円
平成24年度土岐市・瑞浪市障害者自立支援認定審査会特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 4,887,044 円 歳出 4,887,044 円
平成24年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について	賛成 16 人 反対 1 人	歳入 1,136,237,716 円 歳出 1,136,230,316 円
平成24年度土岐市病院事業会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 6,923,772,995 円 歳出 7,238,380,380 円
平成24年度土岐市水道事業会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 1,811,284,368 円 歳出 2,209,988,172 円
消費税増税の中止を求める請願書	不採択 16 人 採 択 1 人	
地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について	全会一致 可決	

委員会報告

第2常任委員会

第2常任委員会に付託されました議案は、補正関係1件、条例関係2件、その他の案件1件、決算関係6件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆平成25年度土岐市一般会計補正予算(第2号)

質疑 既存街路灯LED化促進補助金について、どのような街路灯に対して補助金が交付されるのか。

答弁 自治会が管理している街路灯で、市道を照らしている、LED化が済んでいない街路灯である。



▲LEDの街灯

☆土岐都市計画下水道事業受益者負担金及び分担金に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 延滞金の賦課対象は何件あるか。

答弁 平成24年度で157件である。

☆土岐市公共下水道土岐市浄化センターの建設工事委託に関する協定の締結について

質疑 地方共同法人日本下水道事業団と協定を締結する経緯は。

答弁 当事業団は、日本下水道事業団法に基づき地方公共団体共通の利益実現のために下水道に関する業務を支援、代行するために設立された法人で、下水道に関する知識、経験を有し、さらには新技術の開発を行っている。土岐市浄化センターの建設では、当初計画からその後の改築更新においても携わり、当施設の状態を熟知している。

☆平成24年度土岐市一般会計決算の認定について(所管部分)

質疑 給食センターのアレルギー対応について、今後の予定は。

答弁 平成26年度からモデル校で、平成27年4月から全小中学校でアレルギー対応食を実施。

除去する品目については、鶏卵、乳・乳製品、落花生、ゴマの4品目を予定している。



▲アレルギー対応食容器

質疑 リサイクル事業費のごみ減量化・資源化事業奨励金交付事業について、自治会への補助の明細は。

答弁 地区基本額2割、地区人口按分4割、回収量按分4割の算定である。

質疑 農業振興費の青年就農給付金について、内容はどのようなものか。

答弁 新規に農業を始める45歳未満の専業農家の方に対し、経営が安定しない5年間に限り補助するものである。

質疑 土木費の道路橋梁費について、橋梁長寿命化計画における橋梁の作業点検状況は。

答弁 現在までに65橋の点検を終え、残りの205の橋の点検を実施している状況である。

討論 電源立地地域対策交付金を、市職員の義務的経費である人件費に充てることが、適正でないの思いから、この決算には賛成できない。



☆平成24年度土岐市下水道事業特別会計決算の認定について

質疑 補助金の減額による下水道普及率への影響はどのくらいか。

答弁 工事予定施工の減少により、2%程度の影響である。

☆平成24年度土岐市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

質疑 一般会計からの繰入金が190

0万円であるが、その解消策はないか。
答弁 水洗化率を上げ収入を増やすとともに、経費削減に努める。

第1常任委員会

第1常任委員会に付託されました議案は、補正関係3件、条例関係3件、決算関係7件、請願1件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆平成25年度土岐市一般会計補正予算(第2号)の所管部分

質疑 保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金について、どのような改善を行うのか。

答弁 花園保育園と土岐津保育園の保育士及び給食調理員の手当てについて、処遇改善するものである。

☆土岐市税条例の一部を改正する条例について

質疑 金融所得課税の見直しについて、市民税の課税の特例がどのように変わるのか。

答弁 今回の改正は、国債・上場株式の社債・地方債などの利子の課税、譲渡に関する課税等について、上場株式等と同様に課税するもの。

☆土岐市子ども・子育て会議条例について

質疑 子ども・子育て会議の事業の対

象となる子どもについて、乳幼児又は園児などに限定されるのか。

答弁 幼稚園・保育園などが中心になるが、年齢の規定はないため、放課後教室事業なども、対象となる。



質疑 会議の内容をホームページに載せて、会議の公開を条例上に明文化する必要があるのでないか。

答弁 公開を前提に、会長が会議に諮って決めていく。

討論 この条例文の中に、会議を公開していただくことが明記されていないため、反対する。

☆平成24年度土岐市一般会計決算の認定について(所管部分)

歳入について

質疑 諸収入の延滞金について、税金の滞納対策で、納税相談は、どのような状況であるか。

答弁 延滞金については、一定期間経過すると発生するが、滞納が発生した時点で、市からは手紙や電話で督促し、早期の納付をお願いしている。

歳出について

質疑 戸籍住民基本台帳費について、各支所で使用する住民票などを発行するシステムで、ウィルスの侵入により情報を流出した事故はなかったのか。

答弁 セキュリティ管理されているFAXやネットワークを使用しているため、ウィルス侵入したことはない。

質疑 老人ホーム費の恵風荘の給食が外部委託されどのような状況であるのか。

答弁 業務は支障なく運営され、外部委託により収支では良い効果が上がっている。

質疑 企画費の定住促進事業についてふるさと創生基金が残っている間は、事業を継続するのか。

答弁 3年間

は現行の方法で行いたい。

質疑 人件費はどれくらいの比率で削減されたのか。また日々雇用職員は何名であるのか。

答弁 人件費は前年度に比べ、2・2%の減であり、日々雇用職員については、総合病院を除き約170名である。



討論 人件費削減のため正規職員を削減する一方で、臨時職員を代用雇用していること、電源立地地域対策交付金を、市職員の義務的経費である人件費に充てることは適正ではないとの思いからこの決算には賛成できない。

☆平成24年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について

質疑 人間ドックの状況と、その不用額で負担金を下げることができないのか。

答弁 人間ドックは、予算上、800名に対し、644名の受診である。また、自己負担金については、現在の負担額が受益者負担の相当額と考えている。

討論 国民健康保険料について、多額の滞納と不納欠損が発生しないような努力をし、人間ドックの自己負担が少なく受診できるようにして欲しいため反対する。

☆平成24年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について

質疑 デイサービスの保険給付について、2億円の補正があったが、なぜ当初の計画と実際のサービス額との差が発生したのか。

答弁 保険制度の改正前に、予算を作成したため、そのサービス給付費に予算との差が生じたため、補正することになった。

討論 予算には反対したが、補正予算で対応し、サービスの利用を抑えることもなく事業が実施された。保険料の抑制を図るための国庫負担をお願いして賛成する。

☆平成24年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について

質疑 すこやか健診の受診率が非常に低い、どのような対策をしているのか。

答弁 従来の方法から、受診票を直接送付する方法に変更して、受診率の向上を図っている。

討論 早期に後期高齢者医療保険の廃止を願うのと同時に、当初予定していた以上の滞納が発生したことで、今回の決算には反対する。

☆平成24年度土岐市病院事業会計決算の認定について

質疑 一般会計から約5%を病院会計

に繰入れをしているが、どのくらいが限度であると考えているのか。

答弁 5%が多いか少ないかについては、一概には言えないが、病院を存続する意思のもと、一丸となって総合病院の改善に努めている。



質疑 なぜ入院患者が減少し、また、在院日数が減少したのか。

答弁 医師が減少したことが入院患者の減少のひとつの要因であり、在院日数の減少は、医療の進歩に伴う急性期の病院の全国的な傾向である。

質疑 看護師の確保と奨学金の状況は、どのようになっているのか。

答弁 看護師の確保については、平成24年度においては、4名増員となり、奨学金の貸付は、現在39名貸し付けをしており、平成24年度から募集枠を40

名から60名に枠を広げて募集をしている。



☆消費税増税の中止を求める請願書について

意見 消費税の増税は短期的には景気を冷やすが、財政再建を成すには、恒久的な税収を確保していく必要がある、この増税はやむを得ない、また、国の借金が千兆円とも言われる中、社会保障の充実が問題となっており、我々が少しでも今の若者の課題・問題を減らしていきたい、そういう思いから、この請願には賛成できないという意見がありました。

意見 消費税を上げれば景気が悪くなり税収は下がる、世論調査でも半分以上の国民が反対していることから、この請願には賛成する。